

ニュースレター 2021年 秋号 目次

- 特集① NEXCO東日本関東支社新渋滞予報士に、石垣博将が就任しました！** …P.1
- 石垣さんに聞く！渋滞予報士とは？現状の渋滞はどう変わった？渋滞の回避方法は？
 - NEXCO東日本が渋滞緩和のために行っていることとは？
- 特集② NEXCO東日本関東支社の最新事業展開についてのご紹介** …P.3
- さらに便利に！さらにつながる！茨城県内の高速道路建設事業について
 - 関越自動車道・駒寄スマートIC、大型車に対応した運用を開始しました！
- 特集③ 体験動画「東京湾アクアライン超裏側探検」を特別公開します！** …P.4
- 「超裏側探検」出演ガイドに聞く、動画の見どころ
 - 「超裏側探検」で潜入！「風の塔」って？

特集① NEXCO東日本関東支社新渋滞予報士に、石垣博将が就任しました！

2021年6月よりNEXCO東日本関東支社の渋滞予報士が交代し、新たに石垣 博将（いしがき ひろまさ）が七代目渋滞予報士として就任しました。

※現下の社会情勢等から、今後の渋滞予測が困難な状況であり、現在は渋滞予測情報の提供は休止しております。

【七代目渋滞予報士 石垣 博将よりご挨拶】

はじめまして。七代目渋滞予報士を拝命しました石垣です。私は、工事事務所で道路の建設事業に携わる中で、新規路線の開通が周辺交通に及ぼす影響の大きさに感銘を受けました。その後、管理事務所で工事に伴う交通規制の協議調整等を経験する中で、円滑な交通の実現に貢献したいという思いを強く持つようになりました。今後は、会社としての渋滞対策を推進していくとともに、渋滞発生のメカニズムや渋滞予防の方法などをお客様にわかりやすくお伝えしていきたいです。どうぞ宜しくお願ひいたします。



■石垣さんに聞く！渋滞予報士とは？現状の渋滞はどう変わった？渋滞の回避方法は？

「渋滞予報士」とは、NEXCO東日本エリアにおいて渋滞発生を予測する担当者の愛称です。現在は関東、北海道、東北、新潟に1名ずつ計4名で活動しています。今回は関東支社七代目渋滞予報士に任命された石垣さんにお話を伺いました。

Q、渋滞予報士は普段どのような業務を行っているのですか？

仕事としては大きく3つです。

- ①年間を通じて、いつ、どこで、どれくらいの渋滞が発生するかの予測
- ②渋滞を分析し、渋滞対策の企画立案を行い（車線増設や標識設置など）、実施した渋滞対策の効果検証
- ③渋滞予測や対策、渋滞予防の方法などを発信

Q、コロナ禍で利用者の行動が変わり渋滞予測が困難な中、渋滞予報士に求められている役割とは？

まず「渋滞予防の方法などをお客様に発信していくこと」が挙げられます。現在渋滞予測はできていないですが、サグや上り坂での速度低下注意、キープレフト、車間時間2秒など、渋滞を防ぐために気を付けるべきことは、コロナ禍前と変わってません。そうした情報をお客様にお伝えし、渋滞に関する理解を深めてもらうことが、渋滞予報士の重要な役割の1つであると考えています。次に「渋滞対策の企画立案」が挙げられます。今後、コロナ禍が収束した際には、交通量が回復し渋滞が従前通り発生する可能性も十分にあります。その影響を少しでも抑えるべく、今のうちから準備を進めておくことが求められます。現在、コロナ禍前から存在する渋滞発生ポイントに対して、渋滞対策の計画や、実現に向けて各方面との調整を進めているところです。

Q、これまでのように渋滞予測がない中、どうしたら渋滞を回避できるのでしょうか。

まず1点目に、「物理的に渋滞が発生しやすいポイントに注意すること」が挙げられます。下り坂から上り坂に変化する地点をサグといい、このサグや上り坂では、無意識の内に速度低下が発生しやすくなります。NEXCO東日本では、渋滞ポイントとして標識などで示しています。このような文字を見かけたら、前方車両だけでなくスピードメーターにも注意しながら運転してもらえばと思います。



当ニュースレターは、2021年9月24日時点の情報を基に制作しております。

«お問い合わせ先»

■NEXCO東日本に関するお問い合わせ:NEXCO東日本関東支社（担当:広報課）TEL:048-631-0001（代表）

■当ニュースレターの掲載内容について、また配信の停止に関するお問い合わせ:

NEXCO東日本関東支社広報事務局（株式会社オズマピアール）TEL:03-4531-0214 / Mail: k-nexco-press@ozma.co.jp

次に2点目として、「リアルタイムな渋滞情報をキャッチし、運転経路に反映すること」が挙げられます。現在、長期的な渋滞予測はできていませんが、**リアルタイムな渋滞情報はドラとらや情報板等を通じて提供しています**。特に複数のルートを選択できる場合は、渋滞状況から運転経路の変更等も検討をお願いしています。ちなみに、情報板で渋滞情報の横に右肩上がりの赤い三角マークがある場合は、その箇所の渋滞が増加傾向にあることを示していますのでご注意ください。

(※すべての情報板で表示されるものではありませんのでご了承ください)

3点目として**「出発時間帯の調整」**が挙げられます。東京湾アクアライン（上り）及び関越道（上り）沼田IC～練馬ICに関しては、「**AI渋滞予知**」の実証実験を行っています。当日お昼の人口情報から夕方の上り方面の渋滞を予測し、毎日14時にドラぷらで公表しています。30分刻みで所要時間を予測していますので、出発時間帯の調整に役立ててもらえばと思います。



▲增加傾向を示す赤い三角マーク

Q、コロナ禍で人々の高速道路の利用、高速道路の渋滞はどのように変わりましたか？

コロナ禍前の2019年と比べると、管内の多くの路線で渋滞は減っており、特に地方部では顕著に減少しています。一方首都圏の路線では、一部コロナ禍前と同程度の渋滞が発生している箇所もあります。

■NEXCO東日本が渋滞緩和のために行っていることとは？

渋滞の原因を分析し、渋滞解消・緩和対策を実施しています。2009年以降の休日特別割引（地方部5割引・上限1,000円等）による増加を経て、2014年以降は各種渋滞対策効果の発現により減少傾向が続いていました。2017年以降、首都圏近郊のネットワーク整備に伴いNEXCO東日本管内の交通量が増え、渋滞は再び増加していましたが、2020年はコロナウイルス感染症の影響により大きく減少しました。

一年間に管内で発生する渋滞のうち約8割が交通集中によるものです。（2020年）お客さまに安全で円滑な道路交通を確保するため、ハード・ソフト両面の対策を実施し、渋滞緩和に努めています。今回は、一例として外環道及び関越道の交通対策について紹介します。

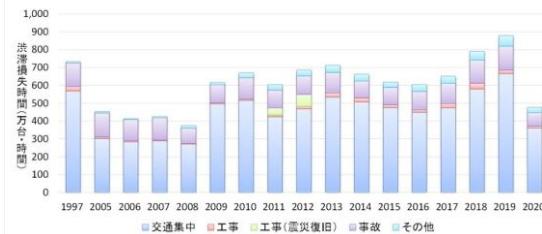
■外環道（内回り）大泉JCT～和光北IC間 車線運用と標識の変更・新設

外環道（内回り）大泉JCT～和光北IC間の渋滞の原因である**追越車線への過度な車両集中を抑制するため**、車線運用を変更しました。和光北IC付近の2車線から3車線に移行する区間で右側の車線を増やし、その先の和光IC付近の3車線から2車線に移行する区間で左側の車線が減少する車線運用になりました。

併せて、「**関越道方面には走行車線と追越車線のどちらからでも向かうことができる**」ことをわかりやすくお伝えすべく、標識の変更・新設も行いました。対策前後で大泉JCT付近における交通集中渋滞が2ヶ月あたり32回から7回に減少しました。



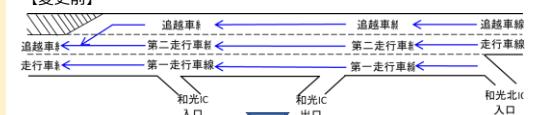
▲渋滞発生状況の推移（NEXCO東日本全体）



▲標識（大泉JCT 300m手前）

▼車線運用

【変更前】



【変更後】



▲東松山IC付近に設置されている車線キープライン

■2021年7月から導入！キープレフトを促進するための「車線キープグリーンライン」

2021年7月から、試行的な取り組みとして**関越道（下り）東松山IC付近で初めて設置された「車線キープグリーンライン」**。キープレフトの促進による渋滞予防や、ICからの流入車を正しい進行方向へ誘導することによる**逆走対策**を目的として設置されました。交通の円滑化のため、ドライブ中に緑色の車線を見かけた際は積極的にご利用いただき、キープレフトにご協力をお願いいたします。

【六代目渋滞予報士 小宮奈保子よりご挨拶】



渋滞を減らすためには我々の渋滞対策の取り組みはもちろんですが、**ご利用いただくお客さまに知っていただきご協力いただくことでその効果は何倍にもなります**。そのためには渋滞予報士が活動しており、ほんの少しかもしれませんがお客さまの快適なドライブに貢献できるものと考えています。この思いを七代目に就任した石垣渋滞予報士に引き継ぎ、お客さまがより快適に高速道路をご利用いただけるよう活動してもらいたいと思います。

特集② NEXCO東日本関東支社の最新事業展開についてのご紹介

■さらに便利に！さらにつながる！茨城県内の高速道路建設事業について

茨城県内を通る圏央道、東関東道、常磐道、北関東道では、高速道路の延伸や4車線化整備、スマートIC・PAの新設などの事業が進められており、さらなる利便性の向上が見込まれています。各事業を円滑に進めるため、2021年7月「つくば工事事務所」を従来拠点の水戸から移転新設しました。茨城県内で進められる建設事業を紹介します。

北関東地域と首都圏をさらに円滑につなぐ東関東自動車道の全線開通や圏央道4車線化、新PAやスマートICも。

全長30.9kmに及ぶ延伸工事が進む**東関東自動車道 潮来IC-鉢田IC間**。ミッシングリンクが解消され、全約143kmがつながります。常磐道、北関東道、圏央道の3本の高速道路と重要港湾(鹿島港、茨城港)、成田空港・茨城空港の物流拠点が結ばれ、**陸・海・空の広域ネットワーク**が形成されます。また**北関東地域や首都圏とのアクセス性向上、災害時の代替路線**として機能し、地域の発展への貢献のみならず、**広域的な交通を支える道路**としての利用が期待されています。また圏央道の4車線化に併せ、休憩施設不足の解消を目指し**坂東PA**の新設が予定されるほか、つくばを中心とする県南エリアではスマートICが続々と建設され、県内のネットワークをより強固に進化させます。



続々と工事が進む茨城県内の事業一覧

- ①東関東道潮来IC-鉢田IC間の開通 (全30.9km)
- ②圏央道坂東IC-大栄JCT間の4車線化 (全63.5km)
- ③圏央道坂東PA*の新設
- ④圏央道つくばスマートIC*設置
- ⑤常磐道つくばみらいスマートIC*設置
- ⑥北関東道笠間PAスマートIC*設置

*いずれも仮称



地域の方々のご理解・ご協力のもと、つくば工事事務所では高速道路の建設・改築事業を進めております。27年間お世話になった水戸市を離れ、この7月につくば市に事務所を移転し新たな一步を踏み出すことになりました。高速道路ネットワークの拡充による利便性向上や地域の発展に寄与すべく、一日も早い開通を目指し事務所一丸となって頑張って参ります。 (NEXCO東日本関東支社 つくば工事事務所 所長 加藤 謙也)

■関越自動車道・駒寄スマートIC、大型車に対応した運用を開始しました！

現在全国で**140箇所以上**の整備が進むスマートIC。2021年7月16日15時より、関越自動車道『駒寄スマートインターチェンジ』では、大型車に対応したスマートICの運用を開始しました。これにより駒寄スマートICは**ETC車載器を搭載した全ての車種**が利用できるようになりました。

地域産業の活性化、スポーツやレジャーの振興へ貢献。災害時の救援活動も支援します。

前橋ICと渋川伊香保温泉ICのほぼ中間に位置する関越自動車道駒寄スマートICは、1日あたり**約5,000台を超える利用**と全国のスマートICでもトップクラスの利用状況にありました。大型車の通行が可能になり、さらにアクセス性が改善され、産業や観光面など様々な方面で利便性が向上することが期待されています。

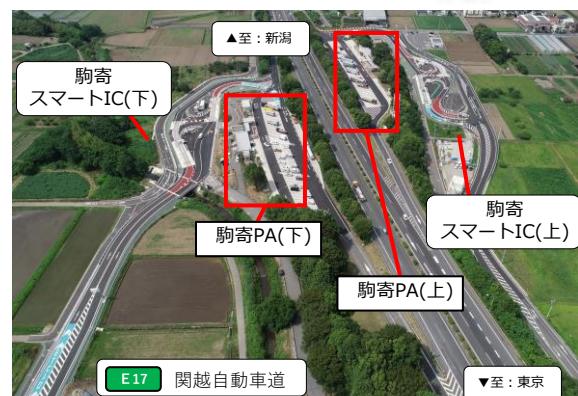
①地域産業の活性化

周辺地域の商業施設や工業団地は、大型車が通行可能になることで、主要道路などの渋滞を回避できるなど、地域の物流における利便性が向上するほか、スマートIC近隣に産業団地や大型商業施設の進出が今後計画されており、**地域産業の活性化**が見込まれます。



②スポーツ・レジャー・観光の振興

県内主要観光地の榛名山や伊香保温泉、赤城山へのアクセスに適した駒寄スマートIC。特に敷島公園は、学校の大会やプロ野球、サッカーの試合が開催される県内一の総合運動公園であり、**大型バス等のアクセス性向上**による**スポーツ・レジャー・観光等の振興**が期待されます。



③防災支援の強化、災害時救援活動の迅速化

陸上自衛隊（相馬原駐屯地）の災害時救援活動の迅速化や防災拠点（群馬県地域防災センター・道の駅）との**緊急輸送ネットワークの形成・強化**が可能となります。

▲上空からの様子 (2021年6月25日時点)

特集③ 体験動画「東京湾アクアライン超裏側探検」を特別公開します！

東京湾を橋と海底トンネルで横断する東京湾アクアラインには、一般にはあまり知られていない建設の工夫や安全確保の仕掛けがたくさんあります。そんな、普段立ち入りることができないアクアラインの裏側を、専属ガイドとともに探検する道路施設見学会「[東京湾アクアライン裏側探検](#)」は、おかげさまで多くのお客様にお楽しみいただいております。

こうした見学会への参加が難しい状況が続く中、少しでも多くのお客様に気軽にお楽しみいただき、またアクアラインへの関心をさらに深めていただききっかけとなるよう、この度特別企画「[東京湾アクアライン超裏側探検](#)」と題した体験動画を制作し、NEXCO東日本のYouTube公式アカウント[\[E-NEXCO driveplaza\]](#)にて公開いたします。



「東京湾アクアライン超裏側探検」動画URL：https://www.youtube.com/watch?v=sAXub3QUS_o

■ 「超裏側探検」出演ガイドに聞く、動画の見どころ



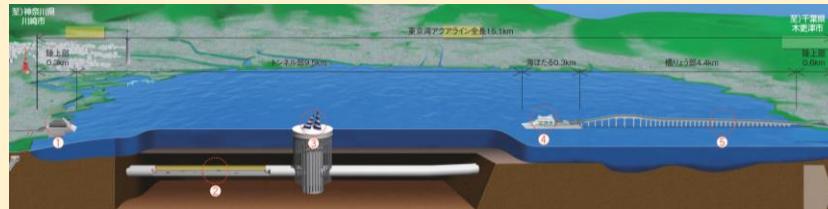
2021年2月～ガイド着任
テレビ取材対応なども行う
TTB アクアライン事業所
総務課 宇田川 美奈



今回の「東京湾アクアライン超裏側探検」でガイドを務めている、宇田川です。動画の見どころはたくさんありますが、やはり普段の「裏側探検」ではご案内できない、東京湾に浮かぶアクアラインの換気塔「風の塔」を探検者目線で探検するシーン、そして体験動画で初公開となる、風の塔の頂上部まで登って東京湾岸を一望するところですね！社員など関係者でも滅多に立ち入りができる場所でもあり、風の塔からしか見ることができない、東京湾岸の貴重な風景を、是非この機会に、多くの皆様にお楽しみいただければ幸いです！

■ 「超裏側探検」で潜入！「風の塔」って？

「風の塔」は、上空から見るとアクアライン中間地点の東京湾上に、まるで浮いているように見える、青と白のストライプが印象的な2つの塔から成る人工島です。長いアクアトンネル内の空気をきれいにするための換気施設の役割を果たしています。



Q. 風の塔まではどうやって行くのですか？

A.普段は立ち入ることができませんが、上陸する場合は、アクアトンネルの避難通路部分を特別に利用します。

Q. どのくらいの大きさなのですか？

A.風の塔の円形人工島部分は直径約200mで、東京ドームのグラウンド部分であればすっぽり入りこむ大きさです。人工島上部の2塔のうち、大塔は約90m、小塔は約75mで、大塔はアメリカの自由の女神像と同じくらいの高さです。

Q. 内部の様子はどうなっていますか？

A.中は空洞状となっています。詳細は是非動画内でご覧ください。



▲東京湾に浮かぶ風の塔



▲頂上からの景色

■ ガイド宇田川さんおすすめ！海ほたるスポット＆グルメ



＜スポット＞

4F「タイムカプセルポスト」

「ここに手紙を投函したら約1年後に届く」という仕組みです。大切な人との記念日やサプライズ企画として人気です！」



＜グルメ＞

房の駅「あさりメンチカツ」 1個￥275円(税込)

「鶏肉、豚肉の合い挽き肉に味付けしたあさりを混ぜ込んだメンチカツ。お肉と貝の旨みが噛めば噛むほど口の中に広がります。」